

2026年3月期 第1四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社
<https://www.teac.co.jp/jp/>
証券コード：6803

2025年8月8日

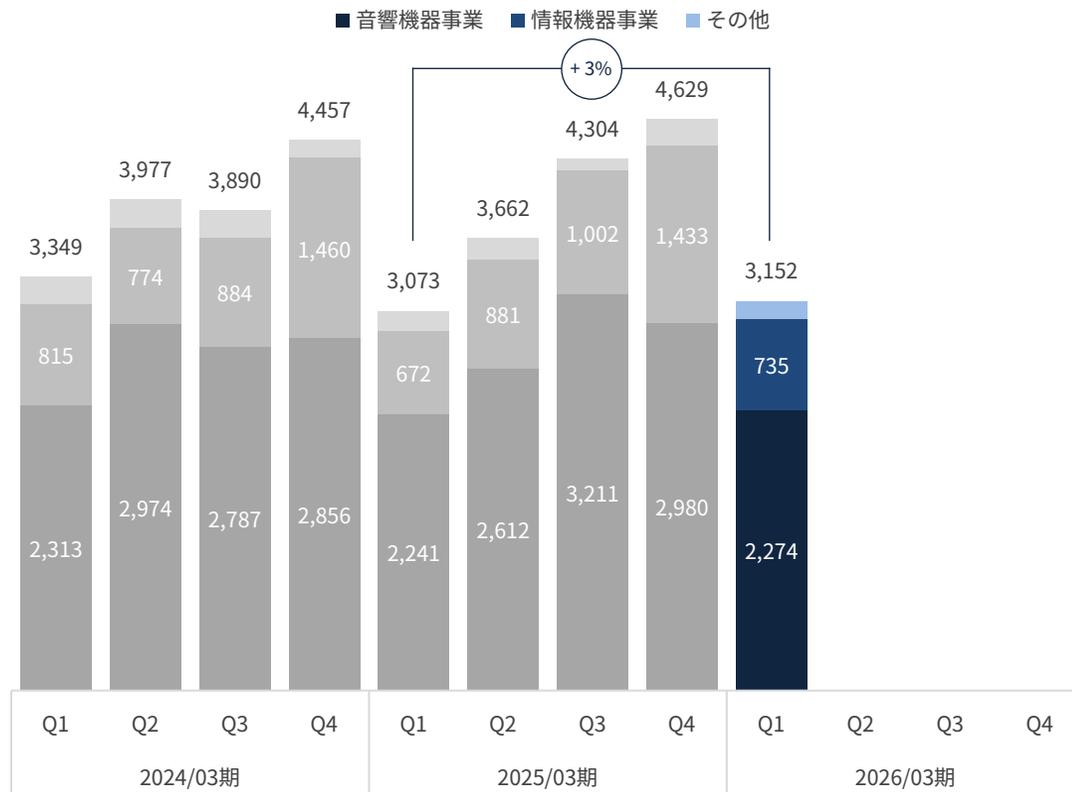
■ 2026/03期 第1四半期は前年同期比増収増益（赤字縮小）

	2025/03期 Q1	2026/03期 Q1	前年同期比		(百万円)
売上収益	3,073	3,152	+ 79 (+ 2.6%)	• 音響機器事業・情報機器事業ともに増収	
営業利益（△損失）	△ 275	△ 292	△ 17 (-)	• その他事業の減益により前年同期比僅かに損失拡大	
税引前利益（△損失）	△ 398	△ 280	+ 118 (-)	• 前年同期比増益（赤字縮小）	
四半期利益（△損失）	△393	△ 264	+129 (-)	• 前年同期比増益（赤字縮小）	
資本合計	3,416	3,164	△ 252 (△ 7.4%)	• 前年同期比減、為替換算差額の変動に因る	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	118.59円	109.85円	△ 8.74円 (△ 7.4%)	• 前年同期比減	
自己資本比率	28.8%	29.6%	+ 0.8ppt	• 前年同期比増	
フリー キャッシュフロー	△ 54	288	+ 342	• 前年同期比増、黒字化	

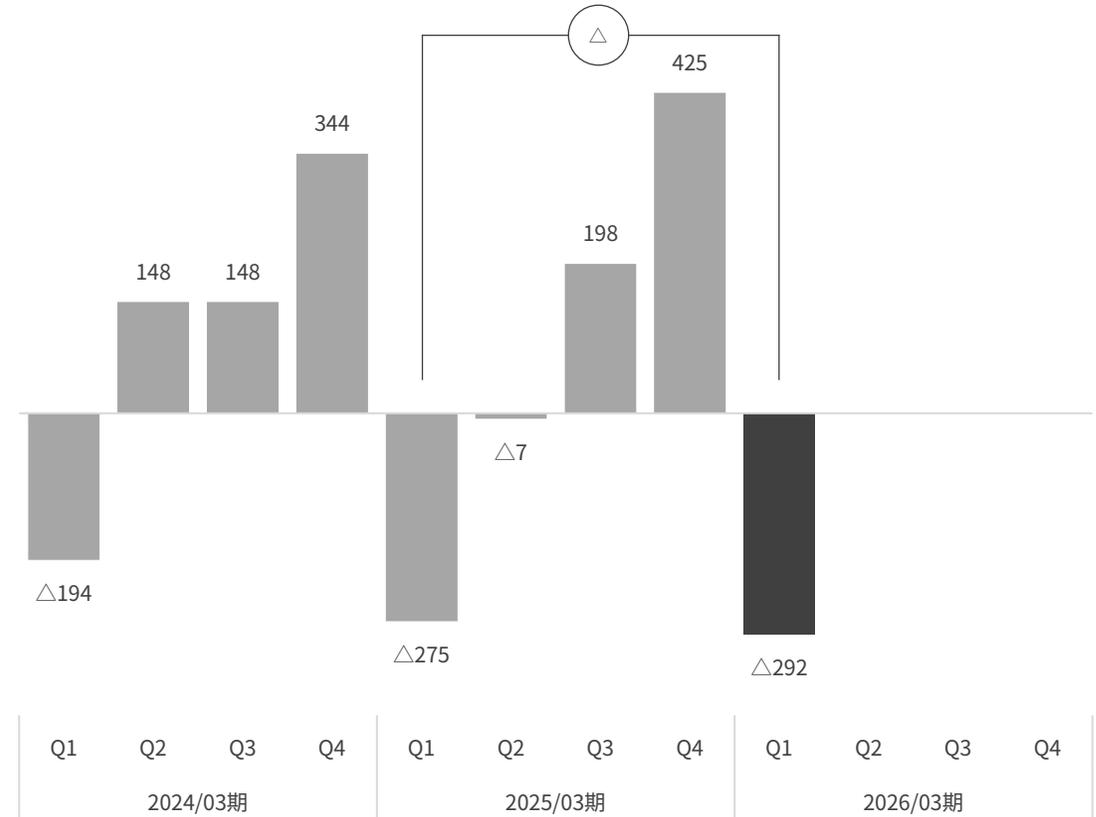
2026/03期 Q1単独 セグメント別業績

- Q1単独（4月-6月）売上収益は、音響機器事業・情報機器事業ともに伸長し前年同期比3%の増収
- 営業利益は、その他事業の減益影響により前年同期比僅かに損失拡大

売上収益 四半期推移

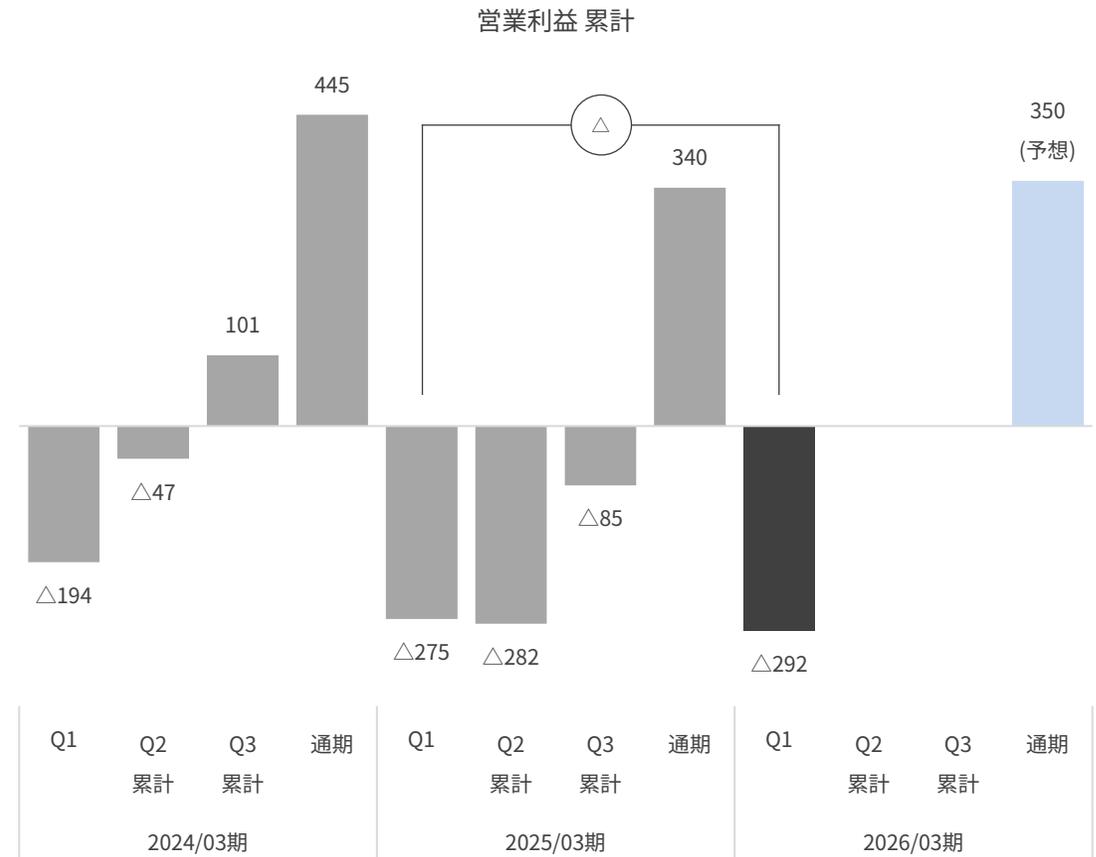
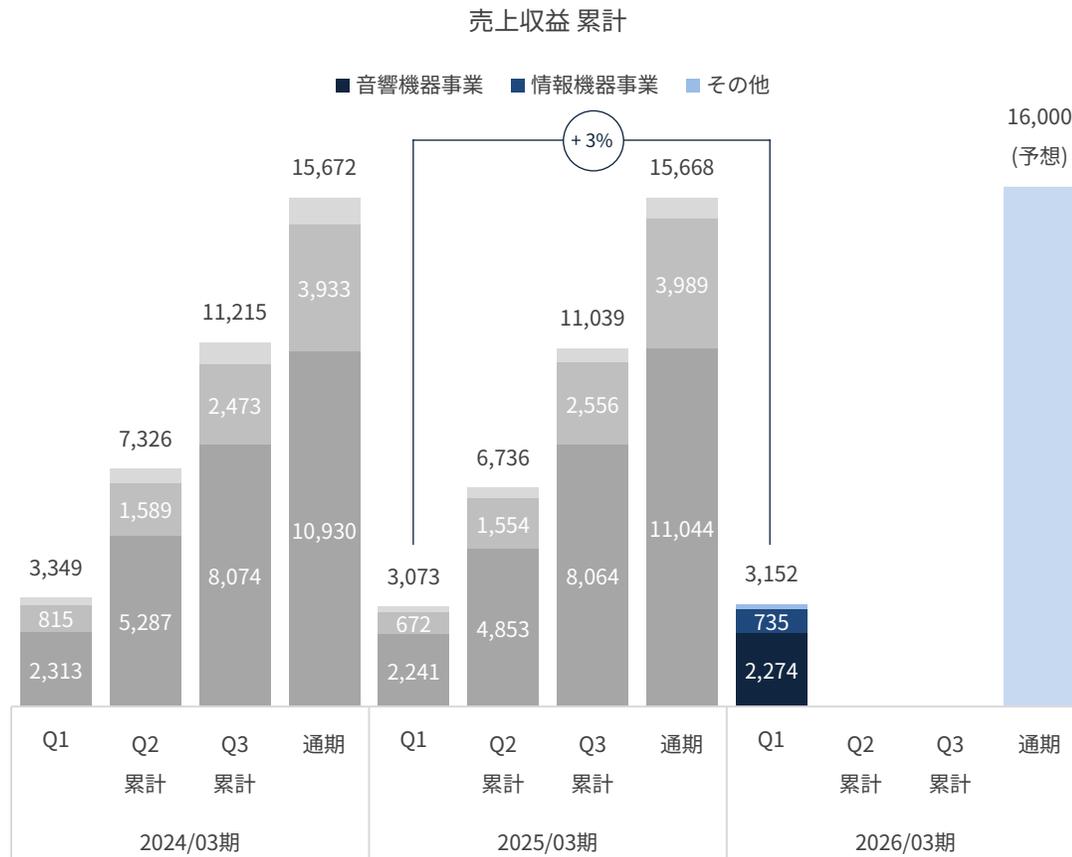


営業利益 四半期推移



2026/03期 Q1 セグメント別業績

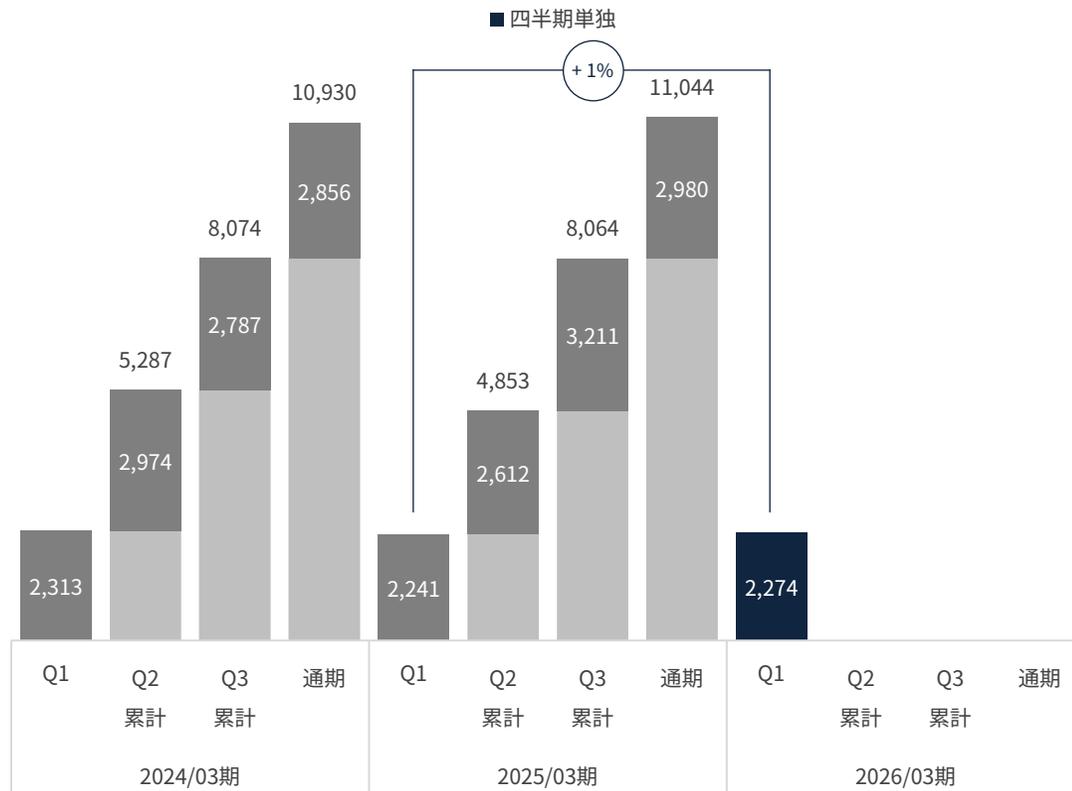
- 売上収益は、音響機器事業・情報機器事業ともに伸長し前年同期比3%の増収
- 営業利益は、その他事業の減益影響により前年同期比僅かに損失拡大



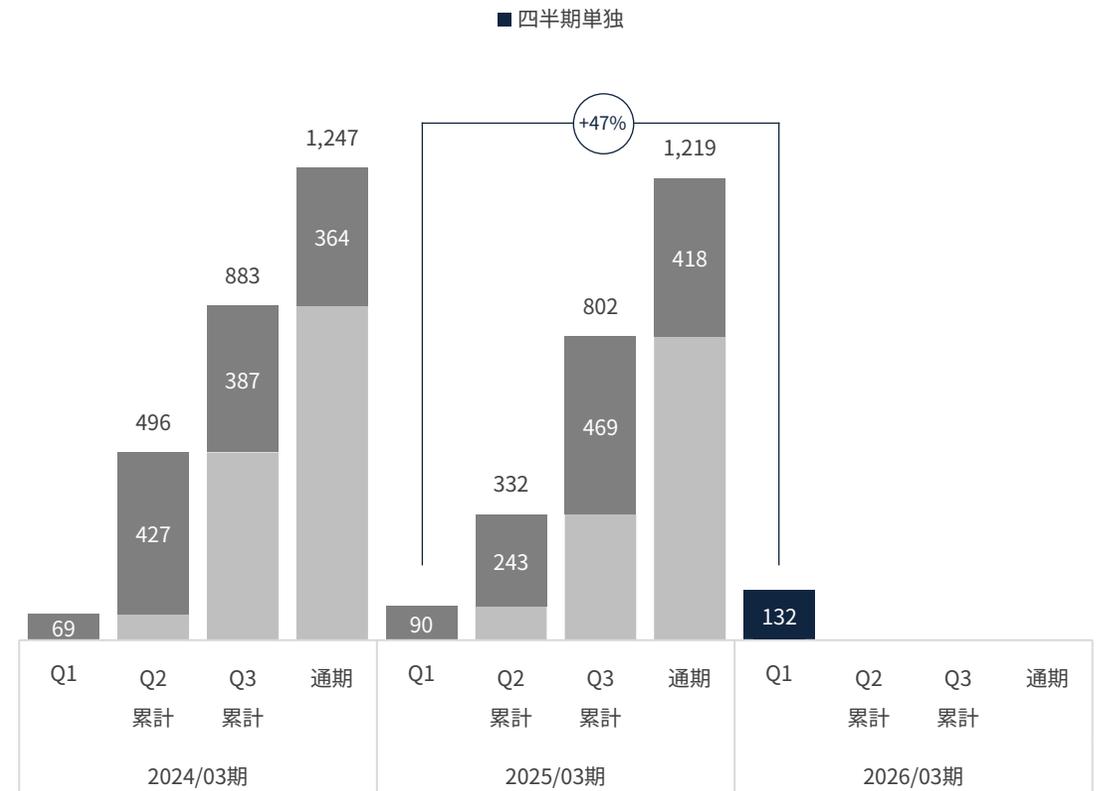
2026/03期 Q1 音響機器事業業績

- プレミアムオーディオ機器（ESOTERIC、TEAC）は、ネットワークプレーヤーは好調継続も他カテゴリーの高額品が低迷し、減収
- 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAM）は、BtoB・BtoCともに需要が安定し好調、米国においても現地販売子会社にて予め前倒し仕入を進めていたことから当四半期は通商政策による大きな影響は無く、増収

音響機器事業 売上収益 累計



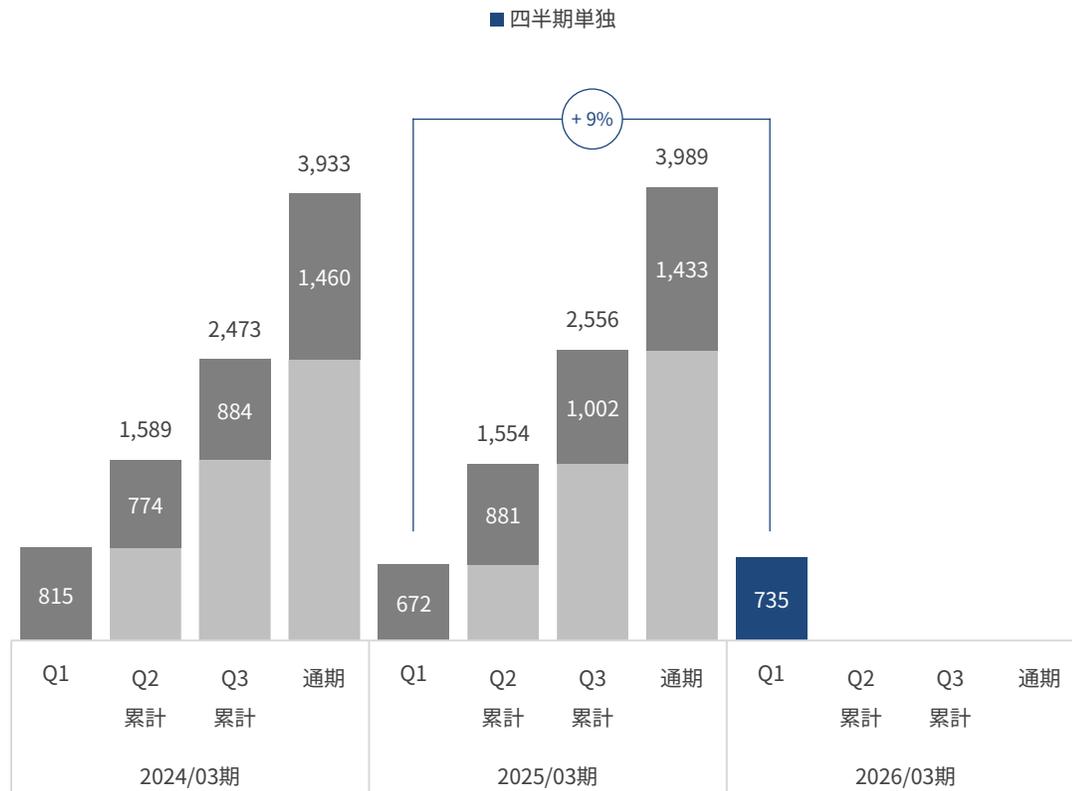
音響機器事業 セグメント利益 累計



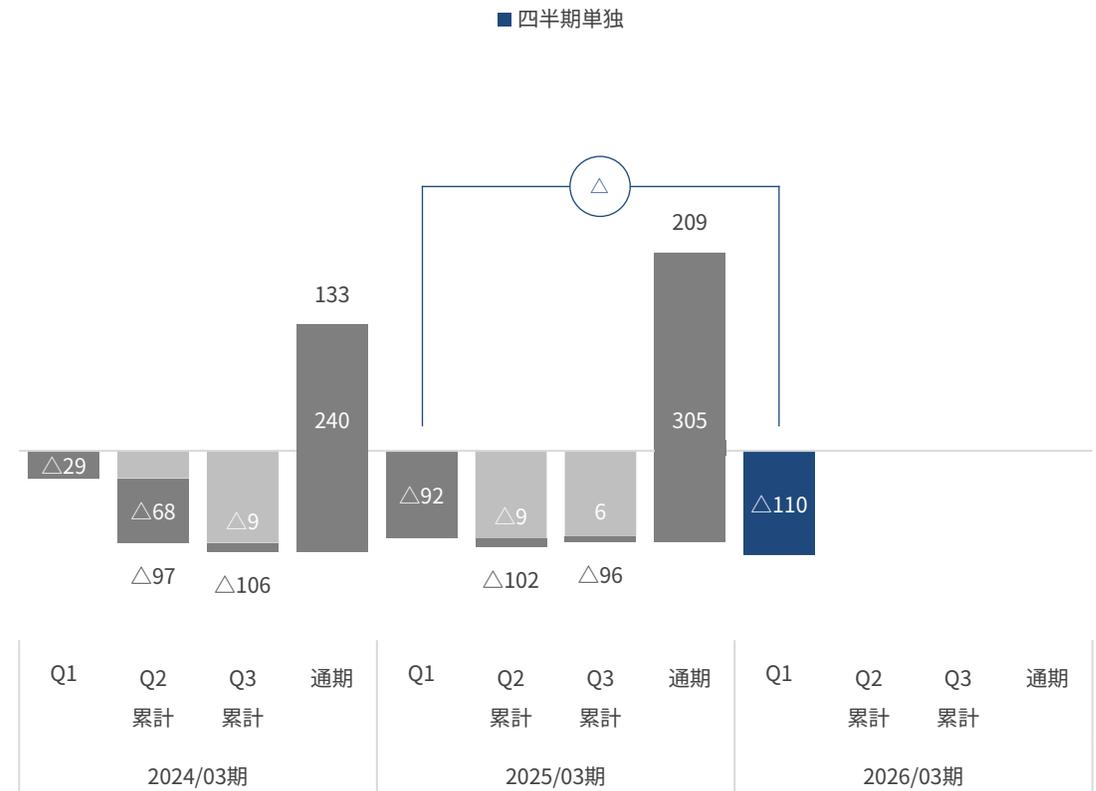
2026/03期 Q1 情報機器事業業績

- 計測機器は、データレコーダーカテゴリにおいて前期末上市の新製品がリース・レンタル業界向けで導入が進まず、減収
- 医用画像記録再生機器は、国内および北米の好調継続に加え、アジアにてOEM販売が本格化したことから、増収
- 機内エンターテインメント機器は、前期に構築した船舶業界向けストック収益モデルが寄与し、増収

情報機器事業 売上収益 累計

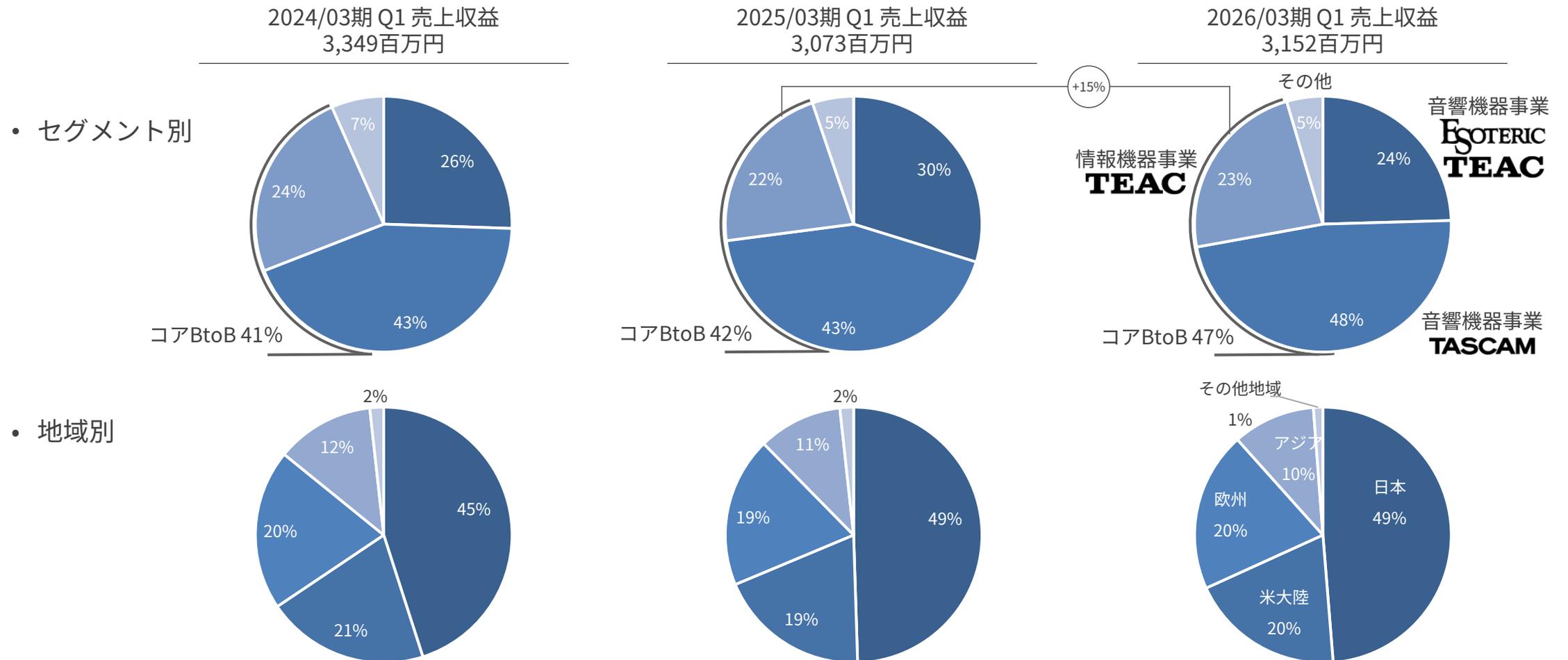


情報機器事業 セグメント利益 累計



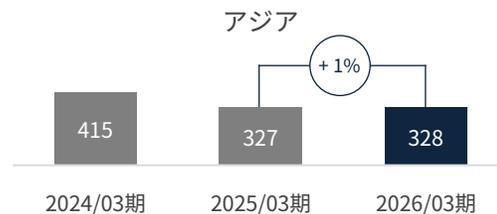
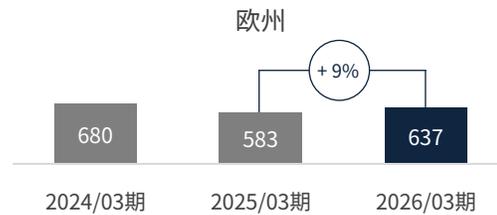
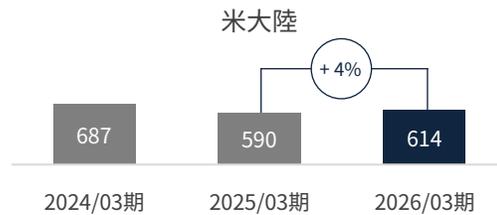
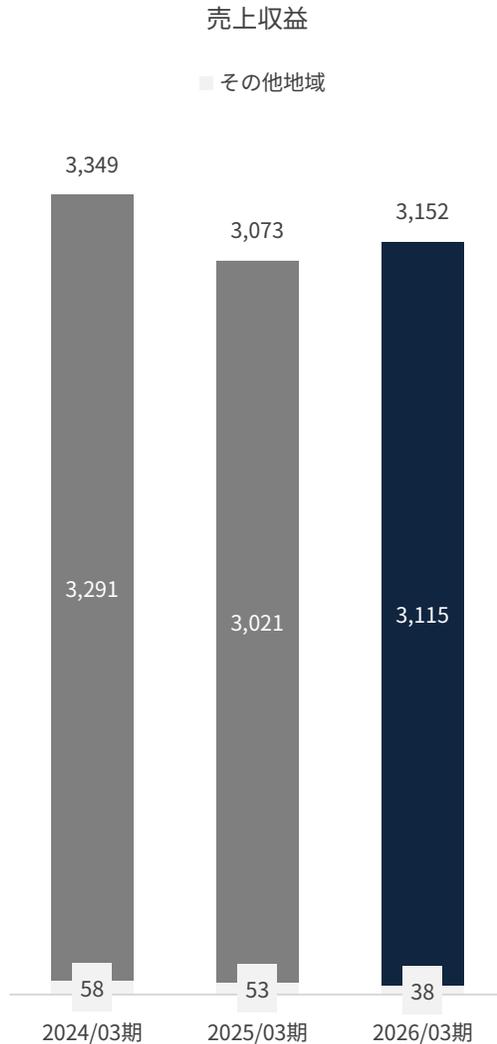
2026/03期 Q1 セグメント別・地域別構成比

- BtoB事業は前年同期比15%増収。うち、北米・アジアで躍進の医用画像記録再生機器は21%伸長し海外売上比率は初の50%超え
- 全地域にて前年同期比増収の結果、構成比に大きな変動無し



2026/03期 Q1 地域別業績

(百万円、+は前年同期比増収、△は同減収)



- 音響機器事業
 - + 業務用オーディオ機器 (TASCAM_BtoB)
 - △ プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_BtoC)
- 情報機器事業
 - + 医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器、ソリューションビジネス
 - △ 計測機器

- 音響機器事業
 - + 音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_BtoC)
 - △ プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (TASCAM_BtoB)
- 情報機器事業
 - + 医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器
 - △ 計測機器

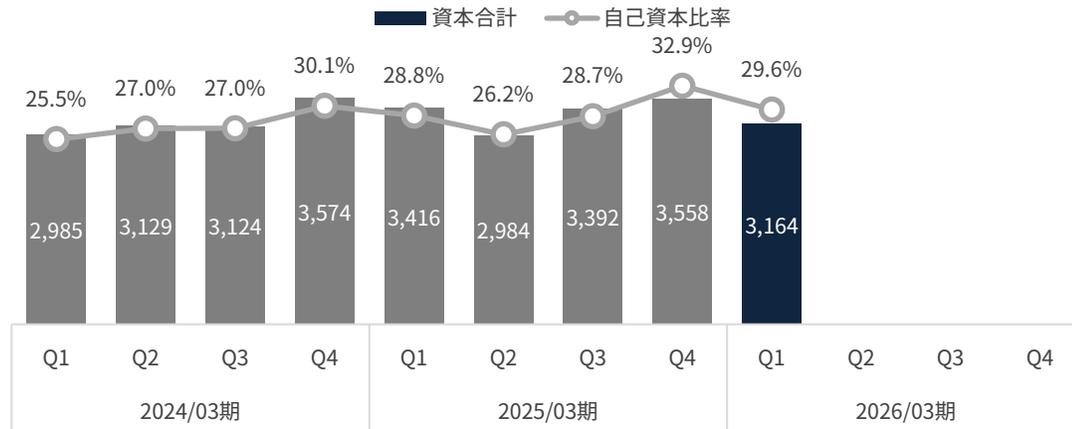
- 音響機器事業
 - + 業務用オーディオ機器 (TASCAM_BtoB)、音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_BtoC)
 - △ プレミアムオーディオ機器
- 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器

- 音響機器事業
 - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (TASCAM_BtoB)
 - △ 音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_BtoC)
- 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器
 - △

2026/03期 Q1 自己資本比率・フリーキャッシュフロー

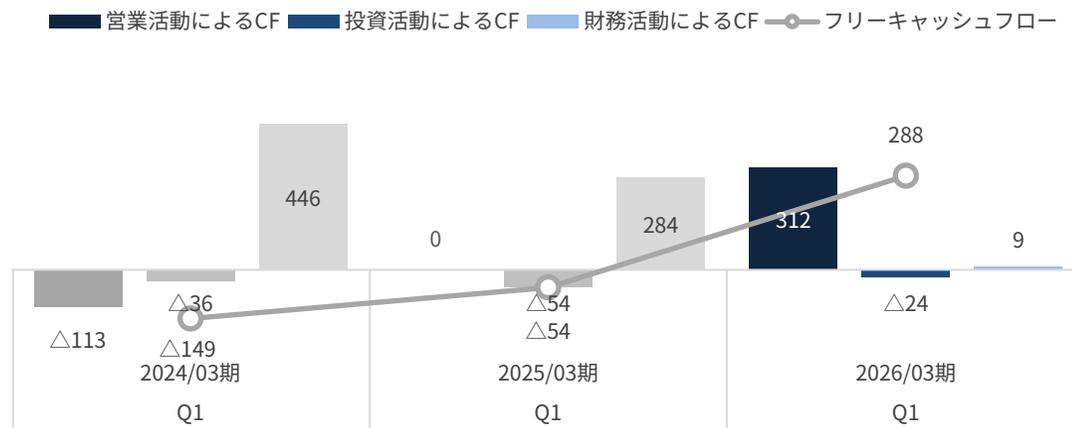
(百万円)

自己資本比率



- 資本合計：前年同期比△ 252百万円 (△ 7.4%) 減、前期末比△ 394百万円 (△ 11.1%) 減
- 自己資本比率：前年同期比+ 0.8ppt増、前期末比△ 3.3ppt減

フリーキャッシュフロー



- フリーキャッシュフロー：前年同期比+ 342百万円増の288百万円。営業キャッシュフローは前年同期比+ 312百万円増の312百万円

■ 2026/03期は、収益悪化リスクを織り込んだ上で前年同期比増収増益を見込む

	2025/03期	2026/03期 予想	前年同期比	(百万円)
売上収益	15,668	16,000	+ 332 (+ 2.1%)	<ul style="list-style-type: none"> インフレや金融市場の混乱、地政学的リスク等存在するが、比較優位性を持つ製品の適宜価格改定と併せ、更なる戦略製品の導入と事業領域の拡大により増収を計画
営業利益	340	350	+ 10 (+ 2.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 米国における通商政策のマイナス影響は現時点で想定される範囲内で織り込み済み
税引前利益	59	150	+ 91 (+ 152.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 増益計画
当期利益	81	100	+ 19 (+ 23.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 増益計画
資本合計	3,558	-	-	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	123.51円	-	-	
自己資本比率	32.9%	-	-	
フリー キャッシュフロー	1,064	-	-	

■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器

TEAC

- 音元出版主催 VGP Summer 2025にて、デスクトップサイズにプレミアムオーディオ技術を結集した、プリアンプ『HA-507』とパワーアンプ『AP-507』の開発に対して、特別賞である批評家大賞を受賞しました



- カナダ発のオーディオ評価サイトAudiophiliaにて、CDプレーヤー『VRDS-701』が“Star Component”アワードに選出されました

Audiophilia



- ドイツ・ライプツィヒを拠点にHi-Fi、ホームシアター製品の自社評価を行うAUDIO TEST誌において『HA-507』が総合評価・満足率92%という高評価を獲得しました



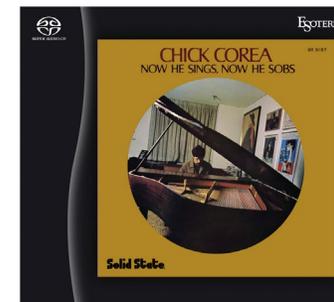
ESOTERIC

- 世界的指揮者である佐渡 裕氏が芸術監督を務める兵庫芸術文化センター管弦楽団が毎年実施している国際オーディションでは、二次審査での実演をTASCAM『Portacapture X8』で同時録音した音源を、ESOTERICの高音質オーディオ機材で再生し、佐渡監督による最終審査が行われ、若い音楽の才能が見出されています

2025 - 2026シーズンのコアメンバー募集となる本年の最終審査では、ESOTERIC『N-05XD』、『F-01』、そしてTANNOY『SGM10』が審査用のモニター機材として使用されました



- 「名盤復刻」ジャズ再始動
5年の沈黙を破り新作をリリース
第一作はCHICK COREA、1968年発表
ピアノトリオとして初レコーディング
にして最高傑作と言われる名作
●NOW HE SINGS, NOW HE SOBS +8



■ 音響機器事業 音楽制作・業務用オーディオ機器

- USB DAC、FMチューナーを搭載のほかBluetooth®レシーバー機能を拡張可能な業務用SD/USBプレーヤー『MP-800U』を新発売

『MP-800U』は、1UラックサイズのUSB DACおよびFMチューナーを搭載したSD/USBプレーヤーです

豊富な再生機能に加え、バランス/アンバランスの出力に対応し、レストラン、結婚式場やイベント会場、PA/SR（ライブコンサートや演劇）などの様々な現場へ導入が可能なオールインワン機器です。また、別売のオプションを装着することによりBluetooth®オーディオの再生やアプリによるリモートコントロール、Ethernetによる外部制御など機能拡張も可能です



- コンパクトサイズでXLRバランス出力を備えた業務用ステレオBluetooth®オーディオレシーバー『RX-BT10』を新発売

『RX-BT10』は、設備音響システムにワイヤレスオーディオ受信機能を拡張することができる、ハーフラックサイズよりもコンパクトなBluetooth®レシーバーです。Bluetooth®5.1 Class 1を採用し、バランスおよびアンバランス出力に加え、アンテナやペアリングボタンの延長にも対応し、ペアリング場所を自由に選べます

また、堅牢な筐体に柔軟な設置性を兼ね備え、店舗や飲食店などの商業施設、ホテルの宴会場や文教施設だけでなく、屋外でのイベントや仮設システムに至るまで、小～中規模の様々な既存システムにおいて安定性の高いBluetooth®オーディオシステムの構築を可能にします



■ 情報機器事業 計測機器

- 『TD-SC1』へのModbus RTU対応機能追加（2025年8月適用開始）

当社トランスデューサービジネスでは、半導体製造装置やFA装置の分野を中心に、Ethernet/IPやCC-Link等、多様な通信規格に対応したロードセル用シグナルコンディショナー『TD-SC1』シリーズを展開し、国内市場で確固たる信頼と導入実績を積み重ねてまいりました

このたび、グローバル展開への足掛かりとすべく、中国や欧州をはじめとする海外市場において広く普及し、産業界での需要が高い国際通信規格「Modbus RTU」機能を新たに追加、『TD-SC1』シリーズで対応可能な通信規格の幅を拡充いたしました。これにより、海外主要産業機器や制御システムとの互換性・接続性を一層高め、導入障壁を大幅に低減し、当社が今期の最重要戦略と位置付ける「海外市場における販売拡大」の実現を強力に推進してまいります



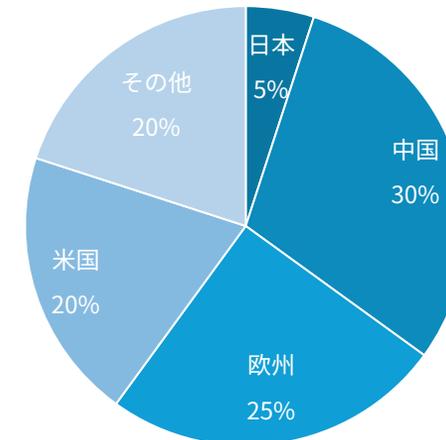
D/A出力モデル

RS-485対応モデル

CC-Link対応モデル

EtherNet/IP対応モデル

『TD-SC1』



Modbus RTU地域別シェア（当社調べ）

参考出典： WiseGuy Reports、GMI Insights、Archive Market Research、DataIntelto & Market Research Intellect

財務データシート (IFRS)

		2024/03期				2025/03期				2026/03期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
貸借対照表	流動資産	9,027	8,930	8,969	9,286	9,302	8,914	9,414	8,568	8,515			
	現金及び現金同等物	1,553	1,086	1,369	1,227	1,487	1,347	1,291	1,552	1,854			
	営業債権及びその他の債権	2,671	2,938	2,603	3,517	2,480	2,433	2,903	3,108	2,334			
	棚卸資産	4,512	4,638	4,662	4,214	5,082	4,925	4,957	3,661	4,134			
	その他の流動資産	291	269	336	328	254	209	263	248	193			
	非流動資産	2,673	2,663	2,593	2,585	2,571	2,490	2,416	2,246	2,181			
	資産合計	11,700	11,594	11,562	11,871	11,874	11,404	11,831	10,815	10,696			
	流動負債	6,242	6,018	6,249	5,434	6,051	6,265	6,482	5,557	6,010			
	社債及び借入金	2,749	2,663	2,965	2,110	2,882	2,985	3,300	2,565	2,823			
	リース負債	519	357	359	367	389	380	386	373	349			
	営業債務及びその他の債務	1,615	1,566	1,571	1,504	1,476	1,412	1,311	1,024	1,425			
	その他の流動負債	1,358	1,432	1,354	1,454	1,304	1,488	1,485	1,596	1,413			
	非流動負債	2,474	2,446	2,189	2,862	2,406	2,155	1,957	1,700	1,522			
	社債及び借入金	977	829	690	1,478	1,142	1,007	926	797	714			
	リース負債	790	913	849	792	710	634	555	477	423			
	長期未払金	622	626	573	511	472	428	386	336	303			
	その他の非流動負債	86	79	78	81	82	86	90	91	82			
	負債合計	8,715	8,465	8,439	8,297	8,458	8,421	8,439	7,257	7,532			
	資本合計	2,985	3,129	3,124	3,574	3,416	2,984	3,392	3,558	3,164			
	親会社の所有者に帰属する持分合計	2,985	3,129	3,124	3,574	3,416	2,984	3,392	3,558	3,164			
非支配持分	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
負債及び資本合計	11,700	11,594	11,562	11,871	11,874	11,404	11,831	10,815	10,696				
親会社所有者帰属持分比率	25.5%	27.0%	27.0%	30.1%	28.8%	26.2%	28.7%	32.9%	29.6%				
損益計算書	売上収益	3,349	3,977	3,890	4,457	15,672	3,073	3,662	4,304	4,629	15,668	3,152	3,152
	音響機器事業	2,313	2,974	2,787	2,856	10,930	2,241	2,612	3,211	2,980	11,044	2,274	2,274
	情報機器事業	815	774	884	1,460	3,933	672	881	1,002	1,433	3,989	735	735
	その他	221	229	218	141	809	160	169	90	216	635	144	144
	セグメント利益	75	385	384	584	1,427	13	251	455	731	1,450	11	11
	音響機器事業	69	427	387	364	1,247	90	243	469	418	1,219	132	132
	情報機器事業	△ 29	△ 68	△ 9	240	133	△ 92	△ 9	6	305	209	△ 110	△ 110
	その他	35	26	6	△ 20	47	16	17	△ 20	8	21	△ 11	△ 11
	個別開示項目前営業利益	△ 194	148	148	344	445	△ 275	△ 7	198	425	340	△ 292	△ 292
	個別開示項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業利益	△ 194	148	148	344	445	△ 275	△ 7	198	425	340	△ 292	△ 292
	税引前利益	△ 389	32	179	183	5	△ 398	37	18	402	59	△ 280	△ 280
	親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 400	32	181	134	△ 53	△ 393	49	13	412	81	△ 264	△ 264
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	△ 113	△ 98	239	88	116	0	104	△ 226	1,300	1,178	312	312
	投資活動によるキャッシュフロー	△ 36	△ 18	△ 17	△ 34	△ 106	△ 54	△ 31	△ 20	△ 9	△ 115	△ 24	△ 24
	財務活動によるキャッシュフロー	446	△ 349	90	△ 256	△ 69	284	△ 134	124	△ 980	△ 706	9	9
	フリーキャッシュフロー	△ 149	△ 116	222	54	10	△ 54	73	△ 247	1,291	1,064	288	288

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいている為、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与える要素としてはこれらに限るものではありません。